

第5章 研修活動 目次

5-1	はじめに	5-1
5-2	園外研修	
5-2-1	園外研修の歴史	5-2
5-2-2	園外研修の記録	
5-2-2-1	平成12年 大和民俗公園 他	5-3
5-2-2-2	平成15年 山本家 他	5-4
5-2-2-3	平成17年 北村家・岩澤家 他	5-4
5-2-2-4	平成18年 広瀬家 他	5-5
5-2-2-5	平成19年 太田家 他	5-6
5-2-2-6	平成20年 佐々木家 他	5-7
5-2-2-7	平成21年 作田家 他	5-8
5-2-2-8	平成22年 鈴木家 他	5-10
5-2-2-9	平成23年 三澤家 他	5-14
5-2-2-10	平成24年 江向家・山田家・野原家 他	5-18
5-2-2-11	平成25年 工藤家 他	5-21
5-2-2-12	平成26年 菅原家 他	5-23
5-3	学習会の記録	5-25
5-4	新人研修（第15期）	5-33

第5章 研修活動

5-1

はじめに

炉端の会では活動の向上を図るため各種研修が行われている。現在では学習会（原則月1回）、班長会主催園外研修（概ね年1回）などのほか各期・各曜日班・有志による懇親を兼ねた園外研修・研修会など多彩に行われている。

炉端の会の新規加入者への新人研修は、募集時のボランティア講座（概要）、活動開始半年間の各村ごとの研修、及び、通常公開棟内で日常的に行われている。

その他、定時ガイド・団体ガイド・フリーガイドへの随伴、炉端文庫（民家・民俗関連図書）貸出、民家解説、展示解説、各種講座（会員は料金半額）など様々な学習の機会がある。

（編集委員 13期 金曜 布野）

5-2 園外研修

5-2-1

園外研修の歴史

園外研修の内容は、炉端の会 20 年の前半 10 年と後半 10 年とでかなり異なっている。

平成 6（1994）年 9 月に活動開始した第 1 グループは 11 月に高津区の影向寺を見学するなど活発な研修活動を行ない、その後第 2・3 グループが発足するとグループ合同研修（平成 10（1998）年 10 月「観音様と民家集落の旅」、平成 11（1999）年 5 月伊那部宿（三澤家）を訪ねる」、平成 12（2000）年 9 月「奈良県立大和民俗公園・民俗博物館」など）も行われた。さらに各グループごとの自主研修も盛んに行われた。

研修の目的は寺社仏閣や古民家を建築物として勉強して日々の活動に資することにポイントが置かれていた。

平成 17（2005）年 4 月炉端の会の体制が再編されたが、一年間中断されていた園外研修については班長会主催で実施することとし、現在も最大のイベントとなっている。

また、研修の目的は、

- ・民家園に移築されている民家の旧所在地を訪問し現地の気候風土・地理的条件を体感すると共に、旧所有者から直接お話を伺う
- ・旧所在地近隣の重文民家などを訪ねて彼の地の地理・歴史・民俗・文化についての見識を広める

ことによって来園者が民家園の古民家に親しんでいただけるような説明が出来るようになることにもポイントが置かれている。

実施に当たっては日帰りが可能な地域から行うこととなり、平成 17（2005）年北村・岩澤家、平成 18（2006）年広瀬家など、平成 19（2007）年太田家など、平成 20（2008）年佐々木家など、平成 21（2009）年作田家など毎年行われた。平成 22（2010）年からは遠隔地に赴く宿泊研修が行われ、平成 22（2010）年鈴木家、平成 23（2011）年三澤家、平成 24（2012）年江向家・山田家・野原家、平成 25（2013）年工藤家、平成 26（2014）年菅原家の旧所在地を訪問し知見を高めている。

この結果、民家園所蔵民家について平成 26（2014）年で西日本以外の訪問がほぼ一巡したため、平成 27（2015）年からは当初訪問地の再訪が計画されている。

（編集委員 13 期 金曜 布野）

5-2-2 園外研修の記録

5-2-2-1 平成12年 大和民俗公園他

3期 金曜 小林 紀久子

平成12（2000）年9月には、前年9月から活動を始めた第3グループも参加した炉端の会「合同研修旅行」があり奈良県大和郡山市の大和民俗公園を訪れ民家集落を見学した。

広い公園内には奈良県内の江戸時代の民家集落が4ブロック（町屋、国中、宇陀・東山、吉野）に分けて移築復元されている。

この集合写真は、「吉野ブロック」の旧前坊家住宅（県指定文化財）の前で撮ったもの。



5-2-2-2

平成15年 山本家 他

- ・平成15(2003)年12月5日(金)
- ・行程 神栖町歴史民俗資料館、山本家住宅、鹿島神宮
- ・参加 44名

・研修の概要

当日は、登戸駅前に集合して茨城県方面に向かい、神栖町歴史民俗資料館に到着。

ここで見学と昼食・休憩も行ない、続いて神栖町「山本家」住宅を見学しました。

この山本家は、作田家と同様に名主も勤めていた網元の家で、建物の建築年代は18世紀前半と考えられており、国の重要文化財に指定されています。

最後に、鹿島神宮に参拝して帰途につきました。

5-2-2-3

平成17年 北村家・岩澤家 他

- ・平成17(2005)年12月6日(火)
- ・行程 北村家、県立秦野戸川公園、岩澤家
- ・参加 55名(うち園職員3名)

・研修の概要

当日は、貸切バスに乗車して、まずは北村家に向かい、移築当時のご当主北村一平ご夫妻から移築時の様子その他諸々のお話しをお伺いしました。

県立秦野戸川公園で昼食・休憩後、清川村に向かい、岩澤家では移築時のご当主のお孫さんである岩澤裕之さんから、岩澤家にまつわる貴重なお話しをお伺いしました。

民家園に移築されている2軒のふるさとを訪れ、有意義な一日となりました。

(編集委員 11期 水曜 羽石)

5-2-2-4

平成18年 広瀬家 他

- ・平成18（2006）年11月17日（金）
- ・行程 甘草屋敷（旧高野家住宅）、上条集落、旧広瀬家住宅所在地
- ・参加 60名

・研修の概要

当日は、多摩区役所前を出発して中央道を塩山に向かい、まず「旧高野家住宅」を見学しました。高野家は江戸時代初期から甘草の栽培を始め、俗に「甘草屋敷」とも称される旧家で、建物の建築年代は19世紀前半とされ重要文化財に指定されています。

笛吹川フルーツ公園で昼食後、上条集落の切妻民家群を見学して、広瀬家に向かいました。

旧広瀬家所在地では、ご当主からお話しをお伺いするとともに、建物の構造に影響を与えた地形や気候などを実地に体感しました。



ご当主広瀬頼正さんより話を聞く



甲州市職員から突き上げ屋根の説明を受ける「上条集落」
（編集委員 11期 水曜 羽石）

- ・平成19（2007）年11月15日（木）
- ・行程 塙家住宅、太田家住宅旧所在地、大場克己氏邸
- ・参加 97名

・研修の概要

当日は、生田緑地の駐車場に集合し、まずは笠間市の塙家住宅を見学しました。塙家は江戸時代初期から名主を代々務めた旧家で、建物は太田家と同じ分棟型民家であり、国の重要文化財に指定されています。

すぎのや本陣笠間店で昼食休憩後、目的地である太田家の旧所在地を訪問し、その後大場克己邸（国登録文化財に指定されている茅葺き民家）を見学して帰途につきました。



（上左・上右 塙家）

（下 大場家）

（編集委員 11期 水曜 羽石）

- ・平成20（2008）年11月12日（水）
- ・行程 海野宿、佐々木家・千曲川
- ・参加 94名
- ・研修の概要

当日は、民家園を出発し関越道、上信越道などを經由して、午前中は「^{うんの}海野宿」を見学しました。

海野宿は、江戸時代初期に北国街道の宿駅として開設され、うだつ、海野格子と呼ばれる長短2本の組み合わせが美しい格子戸、旅籠屋の出桁造りなど、宿場町の建物の様子を見ることができます。



バスを降りて海野宿へ



立派なうだつが目立つ街道筋

海野宿を散策後佐久平駅近くの「佐久乃おぎのや」で名物の“釜飯弁当”の昼食後、佐々木家を訪問して、ご当主から懇切丁寧な説明をしていただきながら、佐々木家の歴史その他について学習し、帰途につきました。



昼食場所「佐久乃おぎのや」



ご当主佐々木嘉幸さんから説明を受ける
（編集委員 11期 水曜 羽石）

- ・平成21（2009）年11月10日（火）
- ・行程 作田家、石堂寺・旧尾形家住宅
- ・参加 104名

- ・研修の概要

生田緑地前から出発したバスは、アクアラインを通過して房総半島を横切り、まずは九十九里町の作田家所在地を見学しました。現地では、現在のご当主から、歴史や環境など作田にまつわる貴重なお話しをお伺いしました。また海岸では九十九里高校教諭の斉藤さんから当時の浜と網元や漁師の住まいの位置関係などもお伺いしました。



現作田家前（屋号“^{もとなや}本納屋”の看板）



ご当主作田倉治さんから説明を受ける

国民宿舎「サンライズ九十九里」で名物イワシの“なめろう”等の昼食をとりました。



昼食後、外房海岸沿いに南下し、南房総市に移動、石堂寺、旧尾形家住宅（房

総式分棟型住宅で国指定の重要文化財。柱に享保13年の墨書がある）を見学しました。



石堂寺には国指定重要文化財 多宝塔、本堂、薬師堂、木造十一面観音立像がある。国指定重要文化財の旧尾形家も石堂寺の境内に移築されている。



旧作田家と同じ「分棟型」旧尾形家住宅

夕暮れぎりぎりまで石堂寺と旧尾形家住宅を見学したあと、東京湾沿いに北上し、行きと同様“海ほたる”を經由して戻りました。

(編集委員 11期 水曜 羽石)

5-2-2-8

平成22年 旧鈴木家 他

・平成22（2010）年11月11日（木）～11月12日（金）

・参加者 79名（園職員3名を含む）

・集合時間 午前7時15分（出発7時30分）

・集合場所 日本民家園前

・行程 1日目

日本民家園→東名川崎 IC→安達太良 SA（昼食：弁当）→福島西 IC→福島市民家園
→奥州街道八丁目宿（旧鈴木家所在地）→二本松 IC→会津若松 IC→割烹・田季野
（夕食）

→会津若松ワシントンホテル（1号車）/ホテル・ルートイン会津若松（2号車）

・行程 2日目

ホテル→旧滝沢本陣→会津武家屋敷→奥会津博物館→西那須野塩原 IC→川崎 IC→
民家園

概要 福島県会津地方の民家と八丁目宿（はっちょうのめじゅく）と呼ばれた旧鈴木家のあった場所を実見する。

1日目（11月11日）

民家園を出発後、安達太良 SA で休憩兼昼食をとり、福島市民家園を訪ねた。同じ民家園のボランティアと云うよしみもあり、丁寧に案内してくれ一同感激する。こ

この民家園は旧鈴木家が日本民家園に移築された事が契機となって昭和57年8月に開園されたとのこと。園内には江戸時代中期から明治初期にかけての県北地方の民家・三間取り農家・上層農家・戊辰戦争の舞台となった旅館、



1号車の皆さん（水・木・土日A）

および芝居小屋等が展示されている。また、見学後は集合写真を撮影した。

2号車の皆さん（火・金・土日BCD）



写真撮影後、かつて八丁目宿と呼ばれた、福島市松川町の旧鈴木家の所在地へ向かう。

鈴木家では、ご当主の鈴木長太郎さん（昭和24年生）にお会いしお話を伺った。写真のハンディースピーカを持っているのが長太郎さんである。



この後、鈴木家を後にして夕食会場の田季野に向かう。

夕食は懇親会
も兼ね、大い
に盛り上がる。



二日目（11月12日）

ホテル出発後、旧滝沢本陣に向かい見学する。慶応4年8月22日に同所であった
戊申戦争時の弾痕や刀傷があちこちに残り、戦いの激しさを物語っていた。



旧滝沢本陣を見学後、会津武家屋敷に向かう。

ここは、会津藩家老・西郷頼母の邸宅を中心に幕末の武家屋敷や武家のくらしを再現している。ちょうど菊祭りがおこなわれていてラッキーであった。



この後、奥会津博物館に向かい、昼食兼見学となる。

ここは、奥会津の人々の生産とくらしを伝える歴史民俗資料を、山・川・道の3テーマに分けて展示しており、体験の場もある。また、馬宿（国指定重要有形民俗文化財「旧大竹家」）、染屋（町指定重要有形民俗文化財「旧杉原家」）等の茅葺民家他がある。



馬宿「旧大竹家」

全てのスケジュールを終了し、民家園に帰る。

（編集委員 10期 土曜 水野）

- ・平成23（2011）年11月9日（水）～11月10日（木）
- ・参加者 89名（園職員2名を含む）
- ・集合時間 午前7時45分（出発8時00分）
- ・集合場所 日本民家園前
- ・行程 1日目

日本民家園 → 中央高速 → 馬場家住宅 → 薬師平菡宿（昼食）→ 伊那部宿（三澤家・旧井澤家） → ホテル

2日目

ホテル → 駒ヶ根（旧竹村家・光前寺） → みはらしファーム（昼食・リンゴ狩り）→ 奈良井宿 → 中央高速 → 日本民家園

概要

民家園に集合し、朝早く伊那部宿に向かう。途中塩尻ICで高速を降り、「雀おどし」と呼ばれる独特の棟飾りを持つ「馬場家住宅」（重文）に向かう。馬場家の伝承では、先祖は武田信玄の家臣・馬場美濃守信春の縁者とされ、藩主を家に迎える為の部屋を持つ等、諏訪高島藩と親密な関係を持つ特別な地位にあったとされる。

（↓本棟造りの馬場家住宅）



馬場家を辞し、昼食後、伊那部宿の三澤家に向かい約40年前に民家園に移築された跡地（現在は新居）を見学する。現地では、ご当主三澤良信氏、訓子氏の出迎えを受け説明を受ける。また、伊那部宿の案内を「伊那部宿を考える会」の会長である森氏が実施してくれた。



炉端の会の吉沢会長は「思っていた通り、裏山まで続く立派な家だった。伊那部宿も古い家が残っていて、非常に良い。民家園でガイドする際にこういうところだった、と伝えていきたい」と

地元紙の取材に答えた。

また、伊那部宿の南の端にある、「旧井澤家」も見学した。この家は天保11年・14年の大火にただ一軒だけまぬがれた伊那部宿では最古の建物である。

以下は同家前での記念写真



二日目はホテルを出発した後、駒ヶ根市郷土館中にある旧竹村家（重文）に向かった。



その後、光前寺に向かう。光前寺は、「光苔」でも有名であるが、残念ながら訪れた日はシーズンを外れていた。



その後、見晴らしファームでの昼食を取りリンゴ狩りを楽しむ。美味しいリンゴの見分け方を教えてもらい、その通りだと感激する。

次に、最後の訪問地である奈良井の宿を訪ね、古い宿場町の雰囲気を楽しみ、民家園に帰る。

以下は、奈良井の宿・木曾大橋での集合写真である。



(編集委員 10期 土曜 水野)

5-2-2-10 平成24年 旧山田家・野原家・江向家 他
～「古民家の故郷を訪ねて～合掌造り（五箇山・白川郷）」

- ・ 期間 平成24（2012）年11月8日～10日
- ・ 参加者 42名（園職員2名含む）
- ・ 行程
 - 11月8日 名古屋駅集合⇒桂湖（旧山田家跡地）⇒岩瀬家（重文）・行徳寺
⇒ 国民宿舎 五箇山荘（宿泊）
 - 11月9日 五箇山荘⇒羽場家（重文）⇒流刑小屋⇒白山宮⇒村上家（重文）
⇒菅沼集落（五箇山民俗館・硝煙の館）⇒利賀村（野原家）
⇒相倉集落・合掌造り民宿（宿泊 分宿）
 - 11月10日 相倉合掌造り集落⇒旧江向家跡地⇒白川郷萩町
⇒名古屋駅解散
（五箇山の菅沼集落・相倉集落、白川郷の萩町集落は世界遺産である）

・ 研修の概要

（11月8日）

名古屋駅に集合後、途中の道の駅での昼食後、湖底に沈んだ旧山田家が所在していた桂湖のビジターセンターで西赤尾小学校桂分校の最後の先生 寺崎満雄さんより6軒の家族が1つの家族の様にお互いに助け合って生きてきた事 生活振りをお聴きしました。（又 助け合わないと生活が成り立たなかった事もあるようです）



桂湖ビジターでの寺崎先生の話



桂湖の虹と紅葉

- * 桂湖に到着時に真っ赤な紅葉が桂湖に映え、丁度、桂湖から近くの山に架かった素晴らしい虹の景色は3年近く経った今でも鮮やかに目に浮かびます。

岩瀬家 およそ300年前に8カ年の歳月をかけて建てられた5階建て、五箇山最大の合掌造り家屋で釘を全く使用していない内部構造の様子、道具、現当主の話をお聴きしました。



岩瀬家住宅

国民宿舎 五箇山荘（宿泊）
地元有志の方の日本最古の民謡、こきりこ節の唄と踊りを愉しみながら、岩魚料理を始めとする地元料理を堪能しました。

（11月9日）

流刑小屋 江戸時代の加賀藩の政治犯が収容されていた小屋で外部とは食事を入れる所があるだけで政治犯1人が寝起き食事をするだけのスペースがあります。暗く湿気があり当時の政治犯の生活振りが思いはせられます。

（昭和40年に復元されたものです）

菅沼集落 世界遺産合掌造り集落、9棟の合掌造りがあります。



紅葉の菅沼集落

五箇山民俗館 当時の生活ぶりが偲ばれる生活道具、資料が展示してあります。
（当時は外部との交流がやり難い陸の孤島と考えられた所ですが文化の香りがする資料が沢山ありました。）

煙硝の館 煙硝作りの装置、資料があります。
当地の説明では人間の小便はふりかけないそうです。（日本民家園説明との違い）

野原家 42人の仲間全員が野原家の座敷に上げて頂き、作りたてで最高に

旨い栃餅や茶菓子をご馳走頂きながら先代当主夫人より45年前に結婚した時の野原家の生活振り、近所の話をお聴きしました。



立派な仏壇がある野原家座敷

相倉合掌造り集落(宿泊、分宿)
世界遺産合掌造り集落、20棟の合掌造りがあります。

囲炉裏で時間を掛けて炙った岩魚の骨酒や地元料理を堪能しながらの当主の茅葺作り、屋根葺き、冬の雪掻きの話を聴き、仲間と夜遅くまで会話を愉oshimimashita。

(11月10日)

相倉集落での紅葉真っ盛りの散策を愉oshimimashita、最高の時間を過ごoshimimashita。

江向家跡地 すぐ横に高岡までの国道156号線があり多くの車が走行して当時の名残が余りありませんでしたが、近所の数名の方が出て来られ江向家の玄関場所、間取り等親切に教えて頂き、当時の生活振りが偲ばれました。



江向家跡地

白川郷萩町 世界遺産合掌造り
中国人を始めとする多くの外国の方が往来されており、土産店も多く静かな五箇山と「対照的」でした。

「*今研修には五箇山が所在する南砺市より研修助成金として参加者一人当たり3千円の助成金と南砺市の職員の方が道中不都合が無い様に付き添う等格別のご配慮を頂きました。心から感謝とお礼を申し上げます。」

(編集委員 9期 金曜 鍛冶)

・平成25(2013)年11月7日(木)～11月9日(土)

・行程

11月7日 盛岡駅集合 市内見学 紫波町 工藤家訪問 花巻温泉泊

8日 北上みちのく民俗村 遠野伝承園等見学 あえりあ遠野泊
昔ばなしの夕べ

9日 遠野ふるさと村 千葉家(重文) 盛岡駅解散

・参加 48名(うち民家園2名)

・研修の概要

(11月7日)

盛岡駅に集合後、明治時代に金融の中心地として栄えた紺屋町周辺の歴史的建造物「もりおか啄木・賢治青春館(建物は国重要文化財)」「岩手銀行中ノ橋支店(辰野金吾設計)」などを見学。

その後、バスで民家園に移築された旧工藤家の所在地だった紫波町に向かう。現地では工藤家をはじめ近隣の方々から大歓迎を受けた。炉端の会からは御礼として民家園の旧工藤家の写真パネルを贈呈し喜んでいただいた。

また、明治41(1908)年生まれでご健在の工藤ソノさまはじめ工藤家の方々から南部の曲り屋や座敷わらしなどについての興味深いお話を伺い、民家園の旧工藤家について理解を深めることが出来た。

名産のお料理などをいただきながら歓談し、工藤家をはじめ皆さまが我々炉端の会の活動を高く評価していただいていることを知り今後の活動への意欲が高まった次第である。

(11月8日)

宿を出発して南下し、北上川に沿った「みちのく民俗村、北上市立博物館」を訪問しボランティアの方の案内で見学した。みちのく民俗村は10軒の茅葺民家などが復元されておりこの地の民俗・文化について知ることができた。

次に遠野市に向かい「伝承園」で遠野地方のかつての生活様式や伝承行事などの知見を高め、引き続いて民俗学者柳田国男の遠野物語の舞台ともなった「カッパ淵」「デンデラ野・ダンノハナ」「山口の水車」などを見学した。

夜には宿で遠野の昔ばなしを拝聴することができ、これら一連の研修によって遠野物語に描かれた「日本人が自然・神様・社会のありようなどについてなにをを考えて生きていたのか」を知ることができ、また、これによって今を考える大変良い機会となった。



遠野 伝承園にて

(11月9日)

まず、市内の「遠野ふるさと村」を見学した。村には江戸時代に建てられた「肝いりの家」をはじめ広大な曲り家が集められており昔ながらの山里の文化や生活を知ることができた。

盛岡への帰途、国の重要文化財である「千葉家」を見学した。小高い丘の中腹の小城のように構えられた大型曲り家を中心に土蔵・納屋・社などがある豪農の屋敷構えである。

一方で、間取りは合理的で家は住まい手の生活や地域環境を背景に工夫が重ねられ進化するものであることを伝えていた。

盛岡駅で解散、3日間の大変有意義な園外研修を無事終了した。

(編集委員 13期 金曜 布野)

・平成26(2014)年11月6日(木)～11月8日(土)

・行程

11月6日 山形駅集合 菅原家訪問 田麦俣旧遠藤家住宅 休暇村羽黒泊
7日 出羽三山神社 致道博物館(旧渋谷家(重文)) 酒田泊
8日 国営みちのく公園ふるさと村 仙台駅解散

・参加 57名(うち民家園2名)

・研修の概要

(11月6日)

山形駅に集合後、バスで鶴岡市松沢の菅原家に向かう。現地では現在の当主である淳一氏にお目に掛かることができた。

お話によると地域は過疎化が進み特に若い人が定住しないとのことで静かな集落であった。豪雪地帯のため既に現代風の雪囲いが家を取り囲んでいたが、ご当主によれば昔は旧菅原家の二階からスキーで出入りすることもあったとのことである。

また、当時の生活についていろいろお話を伺い今後の活動の参考になるとともに、民家園での炉端の会の活動を評価しているとのことをお話をいただき大いに励まされた。

その後、田麦俣の旧遠藤家(茅葺屋根の多層民家・県指定有形文化財)を見学した。田麦俣は六十里街道の要所で湯殿山信仰が盛んになるにつれ宿場の性格を帯びてきた集落である。豪雪地帯のため出



田麦俣 旧遠藤家住宅

入り口の確保と敷地が限られているため多層構造が必要であった。高ハツポウの兜造りで旧菅原家と同様の外観である。

(11月7日)

まず、山岳信仰の霊地である出羽三山の羽黒山山頂三山神社の豪壮な茅葺社

殿、国宝の羽黒山五重塔や随神門などを見学した。いずれも歴史に裏打ちされた荘厳さに圧倒される思いであった。

次に、米どころ庄内平野に位置する鶴岡市を訪ねた。数多くの史跡や文化財がいにしへの面影を伝える城下町である。

庄内にまつわる文化財が多く展示されている致道博物館を見学した。

なかでも国の重要文化財である田麦俣から移築された旧渋谷家は昨日見学した旧遠藤家と同様重厚な茅葺きの民家であった。

その後、最上川の河口に開かれ湊町、商人のまちとして大いに栄えた酒田に向かった。到着後は山居倉庫などを散策し豊かな自然や今なお残る湊町文化を感じることができた。

(11月8日)

出発前の時間を利用して酒田の豪商本間家の旧本邸や日本海海運に大きな役割を果たした廻船問屋の鐙屋などを見学した。

仙台へ向かう途上、宮城県川崎町のみちのく公園ふるさと村を訪問した。

この村には東北六県の特徴ある茅葺民家が7棟移築復原されている。岩手・遠野の南部曲り家、秋田・本庄由利の両中門造りの家、青森・津軽の内馬屋式直屋など各地の歴史と風土に培われた民家を見学し大変勉強になった。

また、国営ということもあり映像や模型、展示物などをふんだんに使って判りやすく、興味を持たせる紹介をしており民家園の活動の大いに参考となった。

仙台駅で解散、3日間の大変有意義な園外研修を無事終了した。



みちのく公園ふるさと村にて

(編集委員 13期 金曜 布野)

学習会の記録

		学習会題目・園外研修	講師 (敬称省略)
平成6年	9月	「川崎の文化財展」(川崎市市民ミュージアム)見学	三輪
(1994年)	10月	合掌造りの比較(五箇山・白川地方)	大野
	11月	寺院の構成と役割	三輪
	〃	「影向寺と周辺の歴史的社寺」見学	三輪
平成7年	1月	重要文化財と旧神戸居留地15番地の復原について	大野
(1995年)	2月	神奈川の民家について	大野
	3月	年中行事について	小坂
	4月	旧工藤家住宅について	大野
	5月	大善寺について	三輪
	6月	「大善寺」(山梨県)の見学	三輪
	7月	東寺について	三輪
	8月	移築直前の状況について	野呂瀬
	9月	わが国における阿弥陀信仰の展開について	三輪
	10月	「古寺巡礼 東寺(京都)東大寺他(奈良)」見学 (有志)	三輪
	〃	村・家・神	三輪
	11月	「江戸・東京たてももの園」の見学	三輪
平成8年	1月	村・家・神	三輪
(1996年)	2月	東北地方における民家建築に関する禁令	野呂瀬
	4月	江戸時代の宿場について (1)	三輪
	5月	「郷土の森(府中)・高幡不動」見学	三輪
	6月	江戸時代の宿場について (2)	三輪
	7月	江戸時代の宿場について (3)	三輪
	8月	仏像について	三輪
	9月	寺院建築について(間面記法)	三輪
	〃	「淡海(おうみ)の国・石山寺他9社寺」見学研修(有志)	三輪
	10月	「民家解説ツアー (1)」	大野
	〃	「長念寺(登戸)・妙楽寺(長尾)各文化財」見学研修	三輪
	11月	「民家解説ツアー (2)」	大野
平成9年	1月	船越の舞台工事状況の見学	野呂瀬
(1997年)	2月	山下家の茅葺き替え・船越の舞台改修工事見学	大野
	3月	「光妙寺(二子)・大山ふるさと展」見学	三輪

		学習会題目・園外研修	講師 (敬称省略)
	5月	禅宗伽藍について	三輪
	9月	東京たてもの園ボランティアとの懇談会	
	〃	庚申塔について	三輪
	〃	琵琶湖東岸の寺院見学(社寺他14か所)	三輪
	11月	民具の話	増子
	12月	彦部家住宅・桐生明治館見学(群馬県)	
平成10年	2月	彦部家ならび古文書について	三輪
(1998年)	3月	本棟造りについて	三輪
	4月	「京都平安の仏堂を尋ねる研鑽の旅」 (醍醐寺・法界寺他)(有志)	三輪
	5月	清涼寺式釈迦像について	三輪
	7月	山田家の民具について	木下
	〃	「江戸東京たてもの園」見学(2グループ)	木下
	9月	作田家の民具について	木下
	〃	太田家の五俵の高札について	三輪
	10月	広瀬家の民具について	木下
	〃	「観音様と民家集落の旅」(京都近代美術館特別展・ 三井寺・東寺・日本民家集落見学)(合同)	三輪
	11月	太田家展示のわら細工について	木下
平成11年	1月	三澤家当主を迎えての研修会	
(1999年)	5月	伊那部宿を訪ねる研鑽の旅(合同)	三輪
	6月	裁断橋と冥土の旅について	三輪
	7月	鎌倉に古寺と中世石塔を訪ねる(2グループ自主)	
	8月	炉端の会ハンドブックについて	三輪
	〃	ヨーロッパの野外博物館について	大野
	9月	比叡山の建築と文化 I	三輪
	10月	比叡山の建築と文化 II	三輪
	11月	比叡山の建築と文化 III	三輪
	〃	県博「源頼朝」展見学	三輪
	12月	比叡山の建築と文化 IV	三輪
平成12年	1月	日本民家園資料とトイレについて	栗田
(2000年)	2月	天守建築について	丸石
	3月	幕政時代の民家建築の禁令	野呂瀬

		学習会題目・園外研修	講師 (敬称省略)
	4月	住まいの床について	三輪
	5月	長弓寺(奈良県)・靈山寺の建築概要	三輪
	6月	神殿造と書院造について I	三輪
	7月	神殿造と書院造について II	三輪
	9月	神殿造と書院造について III	三輪
	〃	奈良県立民俗公園・民俗博他(合同)	
	10月	民家園の活動について	三輪
	11月	方丈について	三輪
	12月	近世庶民の古文書学習(北海道板カルタ)	三輪
平成13年	1月	敦煌について	三輪
(2001年)	2月	中国ニア遺跡の発掘について	栗田
	3月	座談会	野呂瀨
	4月	蚕影山祠堂・・・宮殿建築について	三輪
	5月	佐地家の門	三輪
	6月	敦煌研修旅行(有志)	三輪
	〃	敦煌雑感と棟持柱木小屋	三輪
	7月	八王子道について	三輪
	8月	伊豆・江川家住宅について	三輪
	9月	願成就院	三輪
	10月	観世音菩薩像について	三輪
	〃	伊豆葎山江川家住宅(合同)	三輪
	11月	聖徳太子の美術について	三輪
平成14年	1月	古文書の学習(かるたとり)	三輪
(2002年)	〃	旧富沢家住宅(多摩市)見学(1グループ)	三輪
	2月	山梨、甘草屋敷(旧高野家)について	三輪
	〃	唐招提寺金堂解体修理見学(有志)	
	3月	東寺のスライド	三輪
	4月	町並み保存について	野呂瀨
	5月	世田谷紀行	三輪
	6月	世田谷紀行と梵鐘	三輪
	7月	「日本美術全集」鑑賞	三輪
	9月	土の話	増渕
	10月	ばんな寺について	三輪

		学習会題目・園外研修	講師 (敬称省略)
	11月	題不明	講師不明
平成15年	1月	文化財防火デーについて	小坂
(2003年)	2月	寛保2年戌の洪水(佐々木家関連)	増渕
	3月	石器埴造事件の顛末	村田
	3月	影向寺組物の組立実習	三輪
	4月	題不明	講師不明
	5月	題不明	講師不明
	6月	さんりんぼうについて	渋谷
	7月	関家住宅をめぐる景観	増渕
	9月	題不明	講師不明
	10月	寺院経済史の変遷・・・影向寺	三輪(元園長)
	11月	遺された文化財から見る地域史 ～麻生区～	三輪(元園長)
	12月	山本家住宅(茨城県鹿島市神俣)・鹿島神宮(合同)	
平成16年	1月	山下家の展示解説(船越舞台関連展示)	渋谷
(2004年)	2月	武蔵野台地の集落と原風景	増渕
	3月	防災関係の話	中川
	4月	古墳時代後期の住居	増渕
	6月	三澤家屋根の板割り(記録ビデオによる)	外山
	7月	作田家の守り札展示について	渋谷
	9月	古民家の基礎知識・復習編 1	外山
	10月	民家園所蔵 大岡資料について	安田
	12月	全国文化財集落施設協議会報告 ー福島市民家園とボランティア活動を中心にー	木下
平成17年	1月	企画展示 蚕影山祠堂について	渋谷
(2005年)	2月	屋根葺き替え工事について	増渕
	〃	臨時学習会 屋根葺き替え見学会 山田家・野原家	外山
	4月	臨時学習会 炉端向け講習会 機織り(数回)、竹細工(4回)、わら細工(火曜随時)、	民技会各グループ
	5月	北海道開拓の村 ボランティア活動を中心に	木下
	〃	臨時学習会(園内を2回に分けて解説)	大野敏(横浜国大)
	6月	〃	〃
	〃	民家園以外の文化財建造物の修理事例 洞口家住宅(宮城県名取市)東北豪農の家	外山

		学習会題目・園外研修	講師 (敬称省略)
	7月	企画展示解説 1 三澤家 薬関係資料を中心に	越川
	9月	企画展示解説 2 三澤家 薬以外のこと	渋谷
	10月	企画展示解説 3 三澤家 薬関係資料を中心に	越川
	〃	「北村家・岩澤家の故郷を訪ねる」	
	11月	民家園以外の文化財建造物の修理事例 望月家住宅(愛知県新庄市)分棟型	外山
	12月	民具の使い方 農作業 脱穀・調整	
平成18年	1月	企画展示解説 1 清宮家 登戸の太子講について	越川
(2006年)	2月	企画展示解説 2 清宮家	渋谷
	3月	考古学からみた建築余話	村田
	5月	徳島県 木村家の移築復原について	外山
	6月	山田家の仏壇について	三輪(元園長)
	7月	広瀬家の民俗資料について 企画展示解説	野口
	9月	博物館資料の保存について	渋谷
	10月	園内解説(前半)	大野敏(横浜国大)
	11月	園外研修 広瀬家	
	〃	園内解説(後半)	大野敏(横浜国大)
	12月	民家園における古民家建築用材の樹種同定調査について 「民家園の民家 どんな木でできているの？」	中尾七重 (武蔵大講師)
平成19年	1月	企画展示 1 菅原家	野口
(2007年)	2月	企画展示 2 菅原家	渋谷
	3月	火事が起きたらどうするか?(防災訓練)	
	5月	近世民家の成立について	安田
	6月	各県を代表する重文(古民家) 東日本編	外山
	7月	日本民家園の誕生と旧伊藤家住宅	野口
	9月	石仏を見てみよう	渋谷
	10月	分棟型の分布と特徴について	安田
	11月	茨城県の民家について	安田
	〃	園外研修 太田家	
	12月	馬の背高について	炉端の会 成島
	〃	塩硝について	炉端の会 松下繁
平成20年	1月	佐々木家のくらし 1 企画展示解説	渋谷
(2008年)	2月	佐々木家のくらし 2 企画展示解説	野口
	3月	災害時の対応	

		学習会題目・園外研修	講師 (敬称省略)
	5月	民家について	安田
	6月	現地に残る各県を代表する古民家 西日本編	外山
	7月	企画展示解説 その1 原家	渋谷
	9月	企画展示解説 その2 原家	渋谷
	10月	佐々木家のくらし 企画展示解説	野口
	11月	春原家住宅 (佐々木家類似) 養蚕農家の特徴	安田
	〃	園外研修 佐々木家の旧所在地をたずねて	
	12月	「野外博物館」スカンセンを見学して	炉端の会 谷野
平成21年	1月	企画展示解説 工藤家	渋谷
(2009年)	2月	佐々木家屋根葺き見学会	外山
	3月	防災訓練(地震・火事)	外山・木下
	5月	建築史家大岡実の設計活動について	安田
	6月	竪穴住居体験記	炉端の会 原田
	7月	企画展示解説 北村家について	渋谷
	9月	たばこ栽培と北村家	野口
	10月	作田家のくらし	渋谷
	11月	千葉県の民家について	安田
	〃	園外研修 作田家の旧所在地を訪ねて	
	12月	佐々木家保存修理工事の概要	外山
平成22年	1月	企画展示解説 鈴木家住宅	渋谷
(2010年)	2月	鈴木家屋根葺き見学会	外山
	3月	太田家焼損小屋見学	
	6月	灯りの歴史	高橋典子 (市民ミュージアム民俗学芸員)
	7月	「韓国の古民家」(韓国民家園見学)	炉端の会 (金曜班 有志)
	9月	「登戸の左官」企画展示について	渋谷
	10月	鈴木家について	渋谷
	〃	民家園の大黒柱	安田
	〃	園外研修 鈴木家	
	〃	燃料について	安田
	12月	茅葺の構造	市川茂(川中工務店)
平成23年	1月	企画展示解説 野原家	渋谷
(2011年)	2月	石仏について	野口

		学習会題目・園外研修	講師 (敬称省略)
	2月	伊藤家屋根葺替見学会	外山
	4月	民家園の思い出、苦勞したこと、楽しかったこと	野呂瀬
	5月	江戸時代の金程村	根本
	6月	東日本大震災の経験を活かした避難訓練	木下・畑山
	7月	企画展示解説 神奈川の村 愛甲郡清川村 岩澤家	渋谷
	9月	間取り図から見る岩澤家の暮らし	遠山・畑山
	10月	園外研修予習 三澤家について	渋谷
	11月	園外研修 三澤家	
	11月	民具製作技術保存会の歩み(民技会竹細工グループ)	松島(民技会)
	12月	茅葺屋根の作り方	市川茂(川中工務店)
平成24年	1月	考古学と建築史学の接点	村田(元園長)
(2012年)	2月	屋根葺き見学会 工藤家	外山
	3月	旧井岡家調査報告	渋谷
	5月	山梨県丸石道祖神	畑山
	6月	災害訓練	外山・木下
	7月	河童 -そのイメージができあがるまで-	小澤
	9月	災害訓練 原家前駐車場で囲炉裏消火実験	外山・木下
	10月	園外研修予習 五箇山の暮らし	小坂広志(元園学芸員)
	11月	園外研修 五箇山	
	〃	太田家企画展示解説 1 展示室	根本
	〃	太田家企画展示解説 2 太田家	渋谷
	12月	園外研修報告 五箇山	炉端の会
平成25年	1月	タイ国チェンマイの民家園訪問記	炉端の会 松下繁
(2013年)	2月	菅原家屋根茅葺替見学会	外山・市川茂(川中工務店)
	3月	企画展示解説 山下家	渋谷
	5月	防災訓練	外山・木下
	6月	原家について	外山
	7月	木小屋の聞き取り結果	畑山
	9月	防災訓練 (地震・火災)	外山・木下
	10月	園外研修会学習会 岩手県の古民家	外山
	11月	園外研修 工藤家	
	〃	企画展示解説 -大岡實の建築-	田村
	12月	園外研修会報告会	炉端の会
平成26年	1月	江向家のくらしと民具	小澤

		学習会題目・園外研修	講師 (敬称省略)
(2014年)	2月	広瀬家周辺の道祖神まつり	畑山
	3月	水車小屋の話	畑山
	6月	竹中大工道具館映像作品上映 「大工道具 ーその技と心ー」	畑山
	7月	企画展示解説 大工さんの道具箱	小澤
	9月	古民家にまつわる妖怪	畑山
	10月	園外研修予習 旧菅原家住宅について	渋谷
	11月	園外研修 菅原家	
	〃	渡し場と小屋について	関
	12月	新防災システム紹介と災害訓練 (模擬囲炉裏消火)	外山・木下
平成27年	1月	展示解説 旧山田家	関
(2015年)	2月	工藤家外便所の屋根葺き見学	市川茂(川中工務店)
	5月	旧鈴木家の質問について	外山
	6月	「歴史的建築物維持保存・活用の観点から見た 地方寺院建築の現状と課題 ー横須賀市の事例研究を中心としてー」	原
	7月	企画展示の解説 「むか～し むかしの道具たち ー昔話が伝えるくらしー」	小澤

(編集委員 9期 火曜 吉田)

平成27（2015）年は26の方が、無事研修を終えられました。

配属は、火：5名 水：7名 木：4名 金：2名 土：3名 日：5名となりました。

写真は、いずれも2015年1月17日の研修の様です。

1 原家で集合研修 皆さん少し緊張気味



2 佐々木家前で畑山さんから実地研修



3 山下家2階で関さんから説明を聴く。



4 山下家3階のお室にびっくり。



5 畑山さんの案内で山田家へ。



6 山田家2階もお室だらけ。



（編集委員 10期 土曜 水野）